

米政権の正常化に伴う SOTN の正常化と、その最初の記事

Greatchain

November 9, 2024

英語によるおそらく世界で最も正確で詳しく、かつ大規模の展開されているウェブサイト、SOTN (State of the Nation) が、トランプ大統領による政権の復活と同時に、その危険防止の偽装を解除した。彼らは、バイデン政権という異常なものによる言論弾圧を避けるために、サイト続行の不能を装っていたが、それがいま元通りになった。とは言え、これは簡単な操作によって自由にアクセスできるようになっていた。

本稿はいわばこれを記念して、いくつかその最初の記事の見出しを、掲載してみた：

-
- ・トランプ地震！ 彼の勝利でワシントン DC に巨大な振動が起こっただけではない。
 - ・トランプ大統領政権は 3 期続いて勝利した。
注：これは間に入ったバイデン政権が、完全に見え見えの不正選挙によるものあったことを言っている。4 年前のこの時期、そのカラクリが暴かれ、日本国内でもそれは大騒ぎとなり、各地で大きなデモが行われた。これを何もなかったかのように報道し、現在もトランプの方が異常のように言っているのが、新聞とテレビである。あなた方恥を知るべきである。
 - ・主流売春新聞 (presstitutes) は、相変わらず継続して言い逃れとプロパガンダを垂れ流し、選挙結果はすでに決まったと言っているが、しかし・・・
 - ・アメリカのセレブ社会すべての多くの VIP たちが、突然、自分の立てた評判を永遠に消そうと躍起になっている。
 - ・NWO の指令する気象戦争と企業トップによるテロリズム：誰も、これら武器化されたスーパー悪天候から安全な者はいない。
 - ・急速に展開しつつある終末についての特別レポート。

- ・この闘争的な連続する緊張の戦略は、アメリカ共産主義革命を引き起こすカギである。
- ・世界は、この歴史的で前例のない出来事の後で、決して同じものにはなり得ない。
- ・「マインドコントロールされた大量の兵士たち」が、今、処刑を仕掛けられている。
注：これは特に、ゼレンスキーによるウクライナ作戦の惨状を言っている。
- ・ダモクレスの剣が、今、ディープ・ステートとセレブ社会において、あらゆる VIP 民主党の頭上にぶら下がっている。
- ・**カマラ・ハリス作戦**：彼女は、米歴史上、最も危険な文化マルクス主義者であり、満州式な共産党の傀儡候補だった。
- ・**民族抹殺的な、超ワクチン接種アジェンダの暴露**：テキサスの最高裁が、奇跡的に、間違っ
て殺人罪で処刑されようとした無実の男性を、危うく食い止める。
- ・「もし我々が、カマラに投じられた不正投票のすべてを差し引くなら、トランプが 85%
で、カマラの 15%に勝っていた」——GN
- ・民主党が負ける運命にあった。なぜなら、ハリスの選挙運動は歴史的敗北をするように、
ひそかに仕掛けられていたからだ——しかし誰によって？
- ・はっきりわかったことは、共産主義者の AOC が、彼女のハザール・マフィアのご主人
によって、その地位に就けられたこと——アメリカ共産主義革命を遂行するために。
- ・傷心の敗北者、民主党員が勝ち誇って激怒、「愚かで利己的なバイデン！」。
- ・**パニック・モード**：5大ビッグ・ファーマの責任者が、緊急電話会議を招集——トラン
プの地滑り勝利が、彼らのアメリカ掌握を脅かすことを怖れて。
- ・遂に、(ジョージ) ソロスの傀儡を務めていた人物が、長年の腐敗を暴露され、蹴とばさ
れる。
- ・**それが始まった**：反トランプ抗議が国家全土で勃発し、取り乱した左派は、この地滑り
勝利を攻撃し始める。

・マサチューセッツ民主党知事がトランプの（移民）送還計画に挑戦、犯罪者移民を護るために「権力執行」を用いると約束。

・Rachel Maddow が、「ロシアとの絆」に関して（イーロン）マスクを脅迫。

・トランプは、（ジェフリー）エプスティーンの顧客リストを公表するか？

（注）エプスティーンの有名なペドフィリア島には、多くの有力著名人が招かれている。

・アリゾナとネバダはトランプに投票した——これでトランプの選挙人は、312 となり、そこにすべての決戦州の有権者票と、人気票を加えることになる。

・「彼等はすでに 2 回それを試みている。そして現在と、大統領就任演説の期間に、もう一度はそれを試みるだろう。トランプにとって今、第一の仕事は生きていることだ」——フリン将軍が、もう一度暗殺の試みがあることを警告する。

さらにいくつかの例が上がっているが、トランプ勝利の裏に何があったか、それによってどのようなことが起こるか、ほぼ予測はできるだろう。

「**選ばれた者**」としての私の「勝利の確定」と言われているものと、トランプの勝利は、偶然ではなく、シンクロ現象と思われる。また先日の稿で、私が何も考えずに書いた、暗殺の懸念というものも、トランプと私の間で同等に存在するように思われる。